

第9回日中韓観光大臣会合を開催 相互協力など議論し、共同宣言に署名

観光通じ北東アジアの平和促進

第9回日中韓観光大臣会合が8月30日と31日の2日間にわたり、韓国の仁川広域市で開催されました。会期中に行われた民間行事などには、JATA会員旅行会社などの関係者29人をはじめ、約300人が参加しています。

大臣会合では、2020年までに相互交流を3000万人とする日中韓3カ国の目標について、2018年に達成されたという認識で一致。その上で、日中韓3カ国の国民の相互信頼を深める活発な観光交流を推進することで合意するとともに、そのために取り組むべき3国間の協力について議論を行い、共同宣言に署名しました。

共同宣言は、「日中韓3国間の観光協力を通じた北東アジア地域の平和促進と包摂的成長の実現」「観光を通じた北東アジア地域の未来を先導するためのビジョン提示」を実現するための「具体的協力案について合意」、「今後も日中韓観光協力を促進していくための取り組みを推進していくこととで合意」したことなどを謳っています。

日本から石井啓一国土交通大臣と観光庁の田端浩長官、中国から雫樹剛

(ラク・ジュゴウ)文化観光部長、韓国から朴良雨(パク・ヤンウ)文化体育観光部長官

が出席した



壇上で顔をそろえた日中韓の各大臣(左から石井啓一国土交通大臣、韓国の朴良雨文化体育観光部長官、中国の雫樹剛文化観光部長)

インフラ拡充のため努力を強化

3国が合意した観光協力としては、「スポーツ交流協力強化」「日中韓3国の地方観光地間の円滑な交流のため、観光インフラの拡充」「観光産業の拡大と競争力の強化」などが盛り込まれました。

また、日韓観光大臣会談では、両国間に様々な課題があつても、相互の信頼に基づいた観光交流は重要であるという認識で一致しています。日中観光大臣会談では、今後の日中間における双方向交流の推進をめぐり意見が交わされました。

坂巻副会長がフォーラムでプレゼン

8月30日に開催された日中韓観光産業フォーラムでは、JATAの坂巻伸昭副会長が



プレゼンテーションを行う坂巻伸昭 JATA副会長

「日中韓地域観光地連携および活性化施策」をテーマに掲げたセッションでプレゼンテーションを行ったのに続き、JATAと韓国旅行業協会(KATA)による合同会議も実施されました。

合同会議では、JATA側とKATA側の双方から意見発表が行われ、会議の最後に挨拶したJATAの田川博己会長は、「過去に例のない危機に直面して、JATAとKATA、日本政府観光局(JNTO)、韓国観光公社(KTO)の4者が力を合わせて乗り切ろうという意気込みを感じた」と語り、JATAとKATAの会員旅行会社による研修旅行等で相互訪問の拡大を検討することなども提案しています。

日豪の持続可能な観光開発に努力 パースで両国の観光トップが協議

日豪観光交流促進協議の第9
回会合が9月6日、オーストラ
リアのパースで開催されました。

同協議は1995年の日豪間
における観光担当次官級の合意
に基づいて、日豪間の観光交流の
拡大に向けて設置されている協
議会です。

今回の会合には、日本側から
観光庁の田端浩長官、日本政府
観光局（JNTO）の清野智理事
長、JATAの堀坂明弘副会長、
オーストラリア側からは外務貿



日豪観光交流促進協議の会合に臨む日本側出席者

易省のジュリアン・メリマン次官補、
リチャード・コート駐日大使、貿易
投資促進庁のステファニー・フェイ
CEOなどが出席しました。

午前中に行われた両国政府間
の協議では、観光分野における日
豪間の相互協力や観光交流の拡
大に向けたプロモーション、マーケ
ティングなどに関する取り組みに
ついて意見交換が行われました。

**訪日オーストラリア人旅行者数
は11.6%増55万人**

オーストラリア外務貿易省のメ
リマン次官補は、「2009年に
北海道で行われた前回の会合か
ら10年が経過し、良好な日豪関
係により相互訪問する旅行者数
も増加した」と指摘。「両国の交
流を拡大していく上で、今回のよ
うな双方の使節団による対話は
極めて重要だ」という認識を示し

ました。

これに対して、観光庁の田端長
官は、「全日空が9月からパースに
就航しており、今回の会合を通じ
て、日豪間の協力強化、双方の観
光業界の更なる関係強化を進め
ていきたい」と考えを表明。日本を
訪れる外国人旅行者の増加を図
るため、ビザの緩和や航空機発着
枠の拡大、柔軟な免税制度の実現
などに積極的に取り組んできた
ことに言及し、「訪日旅行者数が
飛躍的に増加してきている中で、
2018年に日本を訪れたオー
ストラリア人旅行者は前年比11.
6%増の55万人にまで増加した」
と指摘しています。

**選ばれるデステイネーションの
構築へ**

会合では、JATAの堀坂副
会長がアウトバウンド促進協議会

（JOTC）による海外旅行需
要の拡大に向けた取り組みなど
を紹介。「旅行会社と観光局や航
空会社などのサプライヤーによる
共同プラットフォームとして構築
されたJOTCの活動を通じて、
持続可能なデステイネーション開
発を目指し、市場開発や需要創
出を進めている」と説明して、「設
立当時は1711万人だった日
本人海外旅行者数も、2018
年には1895万人まで拡大し
ており、特に、オーストラリアを訪
れる日本人旅行者数は40万人か
ら47万人へと堅調に推移してい
る」と強調しました。

さらに、堀坂副会長は、「成熟
した旅行市場では熾烈なデステイ
ネーション競争が繰り広げられて
おり、受け入れ側は常に『デステイ
ネーション競争』の中にあること
を意識する必要がある」と指摘。
「選ばれるデステイネーションをい
かに構築していくか。オーストラ
リアの持続可能な観光開発に、わ
れわれ日本チームが少しでも貢献
できるなら、これほどの喜びはな
いと思っています」と語りました。

JATA公式サイト内で活動内容などを紹介 関東支部LADY JATA委員会がホームページ開設

JATA関東支部のLADY JATA委員会は、JATA公式サイト内に「LADY JATAホームページ」を開設しました。

2012年6月に発足した同委員会は、業界として目指すべき女性活躍のビジョンなどについて議論を重ねています。

今回のホームページ開設もこうした取り組みの一環で、委員会の



LADY JATA委員会・メンバーの皆さん

活動内容、女性社員のロールモデルやキャリアパスの紹介など、興味深いコンテンツを用意しています。コンテンツは、隔月ペースで更新していく予定です。

JATA東北支部が 仙台国際空港セミナー実施

JATA東北支部は10月1日、JATA加盟旅行会社の来年度採用予定の内定者と、定期採用を行っていない加盟旅行会社の今年度採用者を対象に、仙台国際空港にてセミナーを実施、約50人が参加しました。

3回目を迎えるセミナーは、今回から定期採用を行っていない加盟旅行会社の採用者も対象となりました。JATA東北支部では「セミナーを通じて若年旅行者の拡大を担う人材育成に取り組んでいきたい」と説明しています。

北海道支部

9月12日 海外旅行委員会
9月18日 国内旅行委員会

東北支部

9月19日 海外教育旅行セミナー

10月1日 (仙台)
次年度採用内定者・2019年度採用者
仙台空港セミナー

10月8日 環境基金杯チャリティゴルフコンペ

10月9日 海外旅行セミナー

10月10日 国際化用促進協議会

10月10日 海外旅行セミナー

10月10日 秋季公正競争規約
説明会

関東支部

9月29日～30日
総務・LADY
JATA合同委員会

中部支部

9月27日 中部国際空港第2
ターミナル視察研修

関西支部

9月17日～19日
国内旅行委員会研修
旅行(道東)

9月19日 消費者相談委員会
9月19日 「受注型企画旅行」
実務講座PART2

9月25日 総務委員会

9月27日 インバウンドツーリズム委員会

中四国支部

9月30日 海外教育旅行セミナー
(広島)

九州支部

9月25日 九州観光推進機構
説明会

10月1日 九州産業大学観光学部
JATA講演会

10月9日 教育研修委員会/国内・訪日委員会インフラ
ツアーリズム研修

10月10日 チームヨーロッパ委員会

沖縄支部

9月13日 観光危機管理
セミナー

9月18日 幹事会

9月19日 海外旅行委員会